

久米 雅 (くめ まさし : KUME Masashi)

幼児教育学科

【職 名】 教授

【最終学歴】 日本体育大学大学院体育科学研究科博士後期課程修了

【学 位】 博士(体育科学)

【専門分野】 運動生理学、温熱生理学

【担当科目】 生活と健康、健康科学、子どもと健康・運動、レクリエーション実技・理論、生涯スポーツ

【所属学会】 日本体力医学会、日本生気象学会、日本体育学会

【研究課題】・ヒトを対象とした暑熱および寒冷環境下における運動パフォーマンスについて

【主な教育研究及び社会的活動】

(1) 論文:

- ・水循環スーツを着用した運動時の体温調節反応と冷却面積,冷却容量との関係、筆頭著者、体力科学、58、pp.109-121 (2009.2)
- ・水循環スーツ着用時の熱抽出量,皮膚温,皮膚血流と運動時の深部温変動との関係、筆頭著者、日本生気象学会誌、46、pp.159-168 (2009.12)
- ・WBGT 28℃以上の輻射環境下における四肢部露出の有無が運動時の温熱ストレスに与える影響、共著、日本生気象学会雑誌、51(4)、pp.127-139 (2015.1)
- ・Lower limb muscle activation patterns and physiological responses obtained using binding pedals during bicycle exercise: The differences of the subjects, 共著, Advances in exercise and sports physiology, 21(1), pp.7-15 (2015.4)
- ・Changes in the physiological strain and graded exercise performance due to warming or cooling of the lower body in a temperate environment, 共著, The Journal of Sports Medicine and Physical Fitness 2021 January;61(1): pp. 18-26 (2021.1)
- ・Subjective perceived risk factors of exertional heat exhaustion-related symptoms in male collegiate athletes in Japan, 共著, International Journal of Biometeorology 67(4) pp. 649-659 (2023.4)
- ・女子大学生における定期的な身体活動を誘発するトリガーについての調査、筆頭著者、京都文教大学地域協働研究教育センター地域協働研究ジャーナル第23集 pp.77-92、(2023.3)
- ・Subjective perceived risk factors of exertional heat exhaustion-related symptoms in female collegiate athletes in Japan, 共著, International Journal of Biometeorology. Online ahead of print, DOI: 10.1007/s00484-024-02667-9 (2024.4)

(2) 学会発表:授業見学者を想定した暑熱環境での模擬的日射暴露の有無が体温調節反応におよぼす影響、山下直之、逸見俊太、久米雅、伊藤僚、芳田哲也、日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会(2023.9)

(3) 学内活動:ともいき研究発表 自発的運動習慣を促す環境づくりに関する研究～若者の運動トリガーを探る～、岡本浄実、久米雅、山下篤央、田中真紀、森井秀樹、(2022.3)

(4) 社会的活動:体育の授業や部活動における熱中症予防対策、教員免許状更新講習、講師、近江八幡商工会議所(2021.8)